



林野庁



君津市



2021年10月27日
林野庁関東森林管理局
君津市
公益財団法人イオン環境財団

地域の森の再生を目指して 第2回「君津イオンの森づくり」を実施

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田 卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)と君津市(市長 石井 宏子)、林野庁関東森林管理局(局長 赤崎 暢彦)は、10月31日(日)に第2回「君津イオンの森づくり」を実施します。

イオン環境財団は、森林の再生を目指し、2020年12月に林野庁「モデルプロジェクトの森」における森林づくり活動について、林野庁関東森林管理局と協定、君津市と覚書を締結しました。

本締結に基づき「君津イオンの森づくり」を推進し、6,000本の植樹と「イオンの森」を中心に環境教育等を行う予定です。第1回の植樹は、本年4月に300名のボランティアの皆さまとともに、千葉県に自生する17樹種1,800本の植樹を実施しました。

今回は、2021年9月1日の君津市「市制施行50周年」を記念し、植樹を実施します。君津市立北子安小学校の児童をはじめ、110名のボランティアの皆さまとともに、君津市の花であるミツバツツジやヤマザクラなど、合計1,640本の苗木を植樹します。

今後は、君津市の子どもたちや地域ボランティアの皆さま、NPO・NGO、大学や研究機関等の多様なステークホルダーと連携し、環境教育をはじめ「イオンの森」の資源を活用した環境活動を実施予定です。

三者は、次代を担う子どもたちに持続可能な地域と豊かな自然を引き継ぐため、今後も植樹活動をはじめとする環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

記

<植樹概要>

日 時： 2021年10月31日(日) 10:00~12:00
10:00~10:15 開会式
10:20~11:30 1回目植樹 60名
11:00~12:00 2回目植樹 50名

場 所： 千葉県君津市戸崎2650-1 戸崎国有林
植樹本数： 1,640本(ミツバツツジ・ヤマザクラ・イロハモミジ等11種)
主 催： 君津市・林野庁関東森林管理局・公益財団法人イオン環境財団
協 力： 千葉大学・千葉県森林研究所・千葉県森林整備協会・千葉県森林組合
イオンリテール株式会社・イオンクレジットサービス株式会社
まいばすけっと株式会社

主な出席者： 君津市 市長 石井 宏子 様
君津市議会 議長 三浦 章 様
君津市議会 経済環境常任委員長 石上 壘 様
林野庁関東森林管理局 局長 赤崎 暢彦 様
イオンDNA伝承大学 学長 横尾 博
イオンリテール株式会社 常務執行役員 南関東カパニ支社長 浜口 好博
イオンクレジットサービス株式会社 社長 齋藤 達也
まいばすけっと株式会社 社長 岩下 欽哉
公益財団法人イオン環境財団 専務理事 山本 百合子

以上

ご参考

■第1回「君津イオンの森づくり」

2021年4月16日（金）に植樹地にて入山式を行い、17日（土）に植樹を実施しました。



入山式



植樹地（植樹前）



新入社員による植樹

■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立されました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており、現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ： <http://www.aeon.info/ef/> >

■イオンの森づくり

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は約1,223万本を達成しました。

<千葉県における森づくり>



浦安市（2015年）



千葉市 富田都市農業交流センター（2016年）



千葉市 泉自然公園（2018年）



九十九里浜（2019年）

2013年～2015年 浦安市植樹

東日本大震災時の液状化で噴出した土砂の処理が深刻な課題となっていたことを受け、この土砂を土壌の盛土として活用する植樹活動を実施しました。2013年から2015年の3年間の活動を通じ2,100名のボランティアの皆さまと合計18,000本を植えました。

2016年～2018年 千葉市植樹

2016年に、千葉市富田都市農業交流センターで、第1回「千葉市植樹」を実施しました。地域ボランティアの皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちを含め、1,200名のボランティアの皆さまとクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹8,000本を植えました。第2回は2017年に、第3回は2018年に泉自然公園（千葉市若葉区）で、野鳥の森の再生を目指し、植樹を実施しました。2年間で1,600名のボランティアの皆さまと合計17,000本を植えました。

2019年～ 九十九里浜植樹

松くい虫被害や湿地化により疎林化が進み、また東日本大震災では津波被害にも遭った、千葉県九十九里浜地区の海岸県有保安林において、病虫害及び台風や津波などの災害にも強い海岸防災林の再生を目指し、千葉県「法人の森事業」に賛同し、3年計画で植樹を行っています。1回目は、2019年11月に山武市民ならびに県内外のボランティア計1,000名の皆さまとともに、抵抗性クロマツやマサキなど10,000本の苗木を植えました。2回目は、2020年11月に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約20名の関係者のみで2,000本を植樹しました。3回目の植樹は、本年11月に予定しています。

■イオンの里山づくり

時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月に早稲田大学環境総合研究センター内に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。本研究所はこれまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指していくものです。森づくり、地域づくり、人づくりに取り組み「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から新たな「イオンの里山」の構築を目指します。



<AEON TOWA リサーチセンター ホームページ : <http://www.aeontowa.jp/>>